

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公開番号】特開2009-45385(P2009-45385A)

【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2007-216720(P2007-216720)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月20日(2010.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄を施した図柄帯が付された可動表示体を複数有した図柄変動表示装置を備え、前記図柄変動表示装置は前記可動表示体に付された図柄帯上の図柄を所定個数分の図柄群として前記図柄変動表示装置内の所定箇所に表示可能とする図柄表示部を有し、

遊技価値の投入と遊技者の始動操作により予め決められた複数の当選役及びハズレ役の中からいずれかを選び出す内部抽選を行うとともに、複数の前記可動表示体の変動を開始させ、全ての前記可動表示体の停止操作が受け付けられると、前記図柄表示部に 1 回のゲームの結果を表示する遊技機であって、

前記始動操作を受け付ける始動操作部と、

前記始動操作部に併設して設けられ前記複数の可動表示体それぞれに対応して、その変動を個々に停止させる操作を受け付けることの可能な複数の停止操作部と、

前記複数の停止操作部にて停止操作が受けられると、前記停止操作の受け付けられた当該可動表示体ごとに前記内部抽選の結果に基づいて前記可動表示体の変動停止を制御する可動表示体停止制御手段と、

前記図柄表示部に表示される所定個数分の図柄群を複数の前記可動表示体にまたがって見た場合に、各々の前記可動表示体について少なくとも 1 つの図柄を選び出してできる組み合わせのうち、前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたときにその組み合わせを有効とする表示位置を決定する有効表示位置決定手段と、

全ての前記可動表示体が停止状態となると、前記有効表示位置決定手段により決定された前記有効表示位置に前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたか否かを判定する表示図柄判定手段と、

を備え、

前記複数の当選役には、当該ゲームにて遊技価値の付与を伴う特典に対応する当選役として、第 1 付与役及び第 2 付与役が含まれており、

前記第 1 付与役には、前記停止操作部のうち前記始動操作部から最も遠い位置に配された最遠停止操作部に対応する最遠可動表示体の図柄帯上に一定範囲内の間隔で配置された一の図柄を一個だけ含む第 1 付与役図柄組み合わせが対応付けられるとともに、

前記第 2 付与役には、前記最遠可動表示体を含む全ての可動表示体の図柄帯上に一定範

囲内の間隔で配置された２の図柄を全て含む第２付与役図柄組み合わせが対応付けられており、

前記可動表示体停止制御手段は、

前記内部抽選の結果として前記第１付与役が選出された状態で前記停止操作が受け付けられると、前記一の図柄を前記有効表示位置にまで移動させて停止させる一図柄移動停止制御手段と、

前記内部抽選の結果として前記第２付与役が選出された状態で前記停止操作が受け付けられると、前記２の図柄を前記有効表示位置にまで移動させて停止させる２図柄移動停止制御手段とを有し、

さらに、前記表示図柄判定手段により当該図柄の組み合わせが前記第１付与役図柄組み合わせであると判定された場合、１回のゲームの結果として付与される遊技価値の最大数を付与する最大遊技価値付与手段を備える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記表示図柄判定手段により当該図柄の組み合わせが前記第２付与役図柄組み合わせであると判定された場合、１回のゲームの結果として付与される遊技価値の最大数に満たない数を付与する最大未満遊技価値付与手段をさらに備える

請求項１に記載の遊技機。

【請求項３】

前記図柄表示部に表示される所定個数分の図柄群を任意の前記可動表示体について見て前記図柄群をなす個々の図柄の表示される位置のうち、最も下段に図柄が表示される位置を最下段位置とした場合、前記有効表示位置決定手段は、最遠可動表示体については前記最下段位置のみを選び出してできる限定組み合わせを前記有効表示位置として決定する最下段位置限定決定手段を有する

請求項１または２に記載の遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

（解決手段１）

解決手段１は、

複数種類の図柄を施した図柄帯が付された可動表示体を複数有した図柄変動表示装置を備え、前記図柄変動表示装置は前記可動表示体に付された図柄帯上の図柄を所定個数分の図柄群として前記図柄変動表示装置内の所定箇所に表示可能とする図柄表示部を有し、

遊技価値の投入と遊技者の始動操作により予め決められた複数の当選役及びハズレ役の中からいずれかを選び出す内部抽選を行うとともに、複数の前記可動表示体の変動を開始させ、全ての前記可動表示体の停止操作が受け付けられると、前記図柄表示部に１回のゲームの結果を表示する遊技機であって、

前記始動操作を受け付ける始動操作部と、

前記始動操作部に併設して設けられ前記複数の可動表示体それぞれに対応して、その変動を個々に停止させる操作を受け付けることの可能な複数の停止操作部と、

前記複数の停止操作部にて停止操作が受けられると、前記停止操作の受け付けられた当該可動表示体ごとに前記内部抽選の結果に基づいて前記可動表示体の変動停止を制御する可動表示体停止制御手段と、

前記図柄表示部に表示される所定個数分の図柄群を複数の前記可動表示体にまたがって見た場合に、各々の前記可動表示体について少なくとも１つの図柄を選び出してできる組み合わせのうち、前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたときにその組み合わせを有効とする表示位置を決定する有効表示位置決定手段と、

全ての前記可動表示体が停止状態となると、前記有効表示位置決定手段により決定された前記有効表示位置に前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたか否かを判定する表示図柄判定手段と、　

　を備え、

前記複数の当選役には、当該ゲームにて遊技価値の付与を伴う特典に対応する当選役として、第1付与役及び第2付与役が含まれており、

前記第1付与役には、前記停止操作部のうち前記始動操作部から最も遠い位置に配された最遠停止操作部に対応する最遠可動表示体の図柄帯上に一定範囲内の間隔で配置された一の図柄を一個だけ含む第1付与役図柄組み合わせが対応付けられるとともに、

前記第2付与役には、前記最遠可動表示体を含む全ての可動表示体の図柄帯上に一定範囲内の間隔で配置された2の図柄を全て含む第2付与役図柄組み合わせが対応付けられており、

前記可動表示体停止制御手段は、

前記内部抽選の結果として前記第1付与役が選出された状態で前記停止操作が受け付けられると、前記一の図柄を前記有効表示位置にまで移動させて停止させる一図柄移動停止制御手段と、

前記内部抽選の結果として前記第2付与役が選出された状態で前記停止操作が受け付けられると、前記2の図柄を前記有効表示位置にまで移動させて停止させる2図柄移動停止制御手段とを有し、

さらに、前記表示図柄判定手段により当該図柄の組み合わせが前記第1付与役図柄組み合わせであると判定された場合、1回のゲームの結果として付与される遊技価値の最大数を付与する最大遊技価値付与手段を備える

　ことを特徴とする遊技機である。